地域福祉懇談会検討結果

地域福祉計画の策定にあたり、10 中学校区 34 地区において地域福祉懇談会を開催し、身近な地域における課題や今後、地域で取り組むべきことについて、検討を行いました。

■地域の課題

目標	テーマ	件数	主な意見の内容
1	みんなでふれあい 学ぶ 絆と交流の場づくり		
	1 地域の助け合い意識の醸成	14	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉に参加する意識が低い ・組単位で月一度位、顔合せが出来たらよい（昔は溝掃除等で顔を合わせた） ・若者の行事への参加が少ない ・朝の交通見守り、人員増が必要 ・マナーを守らない人が多い
	2 地域と学校の連携による人づくり地域づくり	2	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化で入園・入学する子どもが少ない ・子どもの福祉（子育て支援等）に関することが弱い
	3 地域の身近な交流・ふれあいの推進	145	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに気軽に行けるコミュニティセンターがない ・祭礼での伝統・文化を守っていくことが、人手不足経費面で困難になってきている ・一人一人はそれぞれ住み良い街を望んでいる 各世代間の意見調整の場・方法が必要
2	みんなで創る 助け合い 支えあいのしくみ		
	1 地域における見守り活動の推進	46	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし、空き家が増えつつある ・どこに誰が住んでいるのか分からない ・地域活動への参加意識が乏しい
	2 ボランティア・市民活動の促進	28	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアスタッフの高齢化 ・老人会のサロンは活発であるが、男性参加者がいない ・支え手世代が参加しない ・活動できる人が限定されている ・人材は多いが、全体をまとめるリーダーが少ない
	3 地域組織活動の促進	110	<ul style="list-style-type: none"> ・全体をまとめるリーダーの不足・高齢化 ・個人情報保護の制約から、どこに誰が住んでいるのか不明 ・活動者が固定化・兼務化している ・町内会役員は男性が主体で、女性の参加が少ない ・自治会役員や各種世話役を同じ人が全てやることが多く、負担が重くなっている
	4 地域活動者の役割分担と連携強化	8	<ul style="list-style-type: none"> ・地区間の活動の連携が必要 ・町内会、組あるいは組内の情報が少ない ・各組織間の連携不足（単独行事がある） ・活動者同士の連携が不足している ・それぞれの活動はしているけれど交流が足りない

目標	テーマ	件数	主な意見の内容
3 みんなで支える 各種福祉サービスの推進			
	1 相談支援機能の充実	3	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会未加入者へ福祉の仕組みが伝わらない ・社会的弱者や要援護者への支援対策として、地域福祉活動を活性化する必要がある ・生活課題の発掘が困難 ・困っている人の相談窓口がない
	2 情報提供の充実	6	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの情報が少ない ・ワンコインサービスのPRと体制がなされていない ・広報とよかわのスピーカーを開放してほしい ・個人情報等、情報の共有と持ち方 ・個人情報が行政から出ない
	3 在宅福祉サービスの充実	7	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯のゴミ出し、買い物支援が必要 ・連区全体が広範囲となり、細かな所まで行き届かない
	4 権利擁護の推進	1	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的弱者や要援護者への福祉対策、福祉活動
	5 サービスの質の向上	3	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの理解を深める
4 みんなで進める 人にやさしいまちづくり			
	1 身近な地域の暮らしやすさの確保	76	<ul style="list-style-type: none"> ・運転ができなくなった高齢者対策、巡回バスが必要 ・コミュニティバスが利用しにくい ・コミュニティバスの使い方がよくわからない ・老人クラブ、送迎バス、無料バス、足がない ・コミュニティバスの利用者がいない ・バス停まで遠くて行けないので近くまで来てほしい ・集まる場所までの交通の手立てが不自由 ・コミュニティバスの停留所が遠くて利用できない
	2 地域の防災・防犯活動の推進	54	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を行って欲しい ・見回り対象者が点在しており、災害時の把握が困難 ・地域のリーダーなどの人材育成が必要 ・地域の防災活動と要支援者との関係の構築が必要 ・自主防災組織の再構築が必要 ・自主防災会の活動が少ない ・災害に対する防災意識が低い ・小学生の登下校の見守り活動が乏しく、通学路の交通量が多い
計		503	

■地域における取り組み

目標	テーマ	件数	主な意見の内容
1 みんなでふれあい 学ぶ 絆と交流の場づくり			
	1 地域の助け合い意識の醸成	33	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで以上に隣近所で声の掛け合い ・地域みんなで福祉を学ぶ機会をつくる ・町内会員が常に大きな声で挨拶をする習慣づくり ・あいさつから始める
	2 地域と学校の連携による人づくり地域づくり	7	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と中学校の連携 ・若い層の人達への地域活動の啓発 ・小学校、中学校も含んだ福祉活動の現状をPR
	3 地域の身近な交流・ふれあいの推進	190	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場面、公共施設、保育園と地域とのふれあいの実施 ・子ども会の行事に多くの方が参加する機会を増やす ・ぬくといカフェのような場を設けて、体操などができたら良い
2 みんなで創る 助け合い 支えあいのしくみ			
	1 地域における見守り活動の推進	21	<ul style="list-style-type: none"> ・隣組の方に声を掛け、まず地域に住んでみえる人を知ってから体制づくりの取り組みをする ・見守り隊の高齢化への対応 ・町内会、民生委員、福祉会との協働による見守りネットワークの構築 ・一人暮らし高齢者のサロンへの参加
	2 ボランティア・市民活動の促進	17	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動をやりたい人、受けたい人の窓口 ・認知症サポーターの研修（サポーターの要請） ・有償ボランティアの推進 ・福祉活動の推進
	3 地域組織活動の促進	156	<ul style="list-style-type: none"> ・世話役にあまり負担をかけないような取り組み ・住民は全戸町内会に加入する ・町内会加入のメリットを明確に伝える ・町内会役員の若返り、女性の登用
	4 地域活動者の役割分担と連携強化	20	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者間の連携 ・町内会、PTAと連携できると良い ・連絡網の組織づくり ・団体の連携強化を図る ・他町内サロンとの相互交流
3 みんなで支える 各種福祉サービスの推進			
	1 相談支援機能の充実	1	<ul style="list-style-type: none"> ・困りごとを話しやすい雰囲気をつくる。
	2 情報提供の充実	6	<ul style="list-style-type: none"> ・有線の復活 ・情報の共有 ・気軽に情報交換ができる ・正しい情報を把握する様心掛ける
	3 在宅福祉サービスの充実	3	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援サービスの案内の配布 ・福祉の手引き書を配布し、みんながわかるようにする

目標	テーマ	件数	主な意見の内容
	4 権利擁護の推進	-	-
	5 サービスの質の向上	-	-
4 みんなで進める 人にやさしいまちづくり			
	1 身近な地域の暮らしやすさの確保	47	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいバスを利用したいと思っている方を把握し、利用方法等を考える ・県道の交差点ごとに人が立てたら良い。 ・地域で考えて意見を出し合い、安全安心なまちづくりに取り組む ・危険箇所を募集する
	2 地域の防災・防犯活動の推進	72	<ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダー、コミュニティリーダー等の養成講座への参加 ・町内会としての防災体制をつくる ・小学校単位で防災訓練を復活 ・地域安全安心に自然災害を想定した防災設備の設置 ・子どもの視線で危険な場所の点検 ・空き家対策（放火・防犯） ・パトロール数を増やす ・防犯灯の増設、LED化 ・通学路の危険個所の整備 ・防犯、パトロールの人たちへの強化
計		573	